

キーワードを入力



トップ

速報

ライブ

個人

オリジナル

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

 **速報** 岐阜・各務原市 小学校で熱中症疑い 19人搬送 2分前

約100匹の犬 牧場で多頭飼育崩壊 牛に踏まれ死んだ子犬も 動物愛護団体が不妊手術

6/27(火) 18:36 配信  12      

STV NEWS



STVニュース北海道

北海道佐呂間町で、およそ100匹のイヌが放置されている牧場が問題となっています。

町は動物愛護団体に支援を要請するまでに至りましたが、なぜ“飼育崩壊”が起きたのか。

その実態とは—

吠えながら牛の周りを走り回るたくさんのイヌ。

その数およそ100匹。

牛舎内は掃除もされていなく劣悪な環境。

中には生まれてすぐに牛に踏まれて死んでしまった子犬もいたといいます。

ここは佐呂間町にある牧場。

飼い主の男性は、最初に保護したイヌへの不妊手術を怠ったことが多頭飼育につながったと話します。

（飼い主）「捨てられた側が被害者だから、かわいそうだから俺が面倒見るということでやっていたらこうなった。増やすつもりはなかった。不妊手術をしようと思って何とかしたんだけど、ここにはなくて、遠軽まで行かないといけない。何百匹になっても面倒見てやろうと思って」

これまで搾乳による収入でイヌの世話をしていましたが、飼料の高騰や生乳の減産などが重なり、次第に多頭飼育は崩壊に向かっていきました。

牧場のすぐ近くの小学校ではたびたび敷地内にイヌが入ってくることもあり、危険を感じていたといいます。

こうした状況を受け、町は動物愛護団体に緊急の要請しました。

（佐呂間町役場 町民課 藤原幹也課長）「早い段階で手を打てば何とかなるのかなと思うが、現在はこのような数になってしまいましたので、皆様のご協力を得なければ対処できません。3日間本当によろしくお願いします」

きょうから3日間、牛舎にいるイヌおよそ75匹に対して不妊手術などが行われます。

ワクチンに反抗するイヌの姿も。

きょう1日でおよそ20匹が処置を受けました。

（どうぶつ基金 佐上邦久理事長）「（飼い主は）まったく悪びれていない。自分は悪いと思っていないことに憤りを感じております。しっかりと責任を取っていただきたいと思います」

動物の命だけでなく、周りにも危害が加わるかもしれない多頭飼育の崩壊。

飼育する側の責任はもちろんですが、万一の場合にどこにSOSを出せばいいのか周知することも大切です。